

令和3年度 JST情報サービス利用者の満足度調査 (J-STAGE利用機関向け)

目次

2頁	■ 目次
3頁	■ 調査概要
	【詳細編】
5頁	■ J-STAGE 情報発信への役立ち度
6頁	■ 情報発信に役立っている理由
7頁	■ 情報発信に役立っていない理由
8頁	■ 国際的な情報発信力強化への役立ち度
9頁	■ 国際的な情報発信力強化に役立っている理由
10頁	■ 国際的な情報発信力強化に役立っていない理由
11頁	■ 情報発信に特に役立っている機能
12頁	■ 出版業務フローに役立っているもの
13頁	■ 登載作業者
14頁	■ 組版作業者
15頁	■ 全文XML 利用状況・移行予定
16頁	■ 全文XML形式への移行を考えていない理由
17頁	■ 全文XML作成ツール 利用意向
18頁	■ エンバーゴ・認証設定有無
19頁	■ エンバーゴ・認証設定理由
20頁	■ エンバーゴ・認証設定 今後の方針
21頁	■ 二次利用取扱い方法の明記有無
22頁	■ 二次利用の許可範囲や条件
23頁	■ 二次利用を明記しない理由
24頁	■ プレプリントサーバで公開された原稿の自誌への投稿承認状況
25頁	■ プレプリント方針の明記予定
26頁	■ 投稿受付時のプレプリントチェック状況
27頁	■ プレプリント論文引用の許容状況
28頁	■ プレプリントサーバ連動サービスへの期待
29頁	■ よく利用しているプレプリントサーバ
30頁	■ 研究データの取扱い規程有無
31頁	■ J-STAGE Data 利用意向
32頁	■ 研究データの引用、再利用等の取り扱い明記状況
33頁	■ データ論文、類するものの論文カテゴリー設定状況
34頁	■ 役に立ちそうなサービス
35頁	■ 広報媒体・イベントでよく閲覧するもの

調査概要

- ◆調査目的 : 国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。
- ◆調査対象 : J-STAGEで資料を公開している機関
- ◆調査方法 : インターネットリサーチ
- ◆調査時期 : 2022年1月27日（木）～2月25日（金）
- ◆有効回答数 : 413サンプル

調査結果の詳細

■ J-STAGE 情報発信への役立ち度

Q1

J-STAGEは貴誌の情報発信に役立っていますか。【必須】 【1つ選択】

- J-STAGEの情報発信への役立ち度について、「役に立っている」が81.8%、「まあまあ役に立っている」が15.7%であり、約97%が「役立っている」と回答している。

※全体 n=413



■ 情報発信に役立っている理由

Q2

J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っている理由を選んでください。

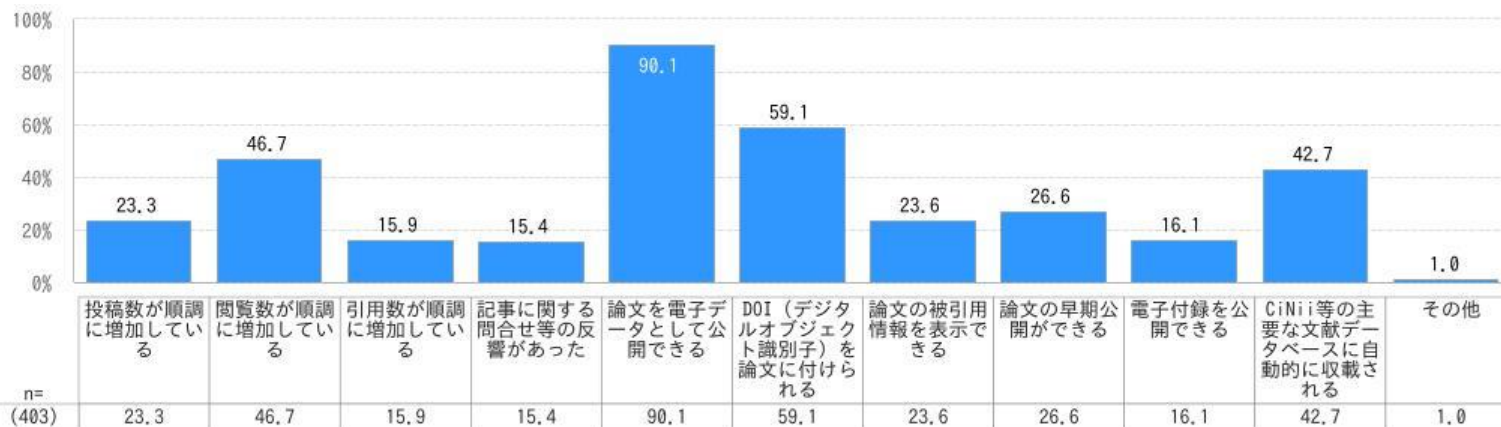
【必須】 【複数選択可】

※選択肢1～4は効果について、5～10は機能についてです。

- 効果としては、「閲覧数が順調に増加している」が46.7%と最も高い。
- 機能では、「論文を電子データとして公開できる」が90.1%最も高い。

※回答者 n=403

● 全体



全体

n=

(403)

23.3

46.7

15.9

15.4

90.1

59.1

23.6

26.6

16.1

42.7

1.0

■ 情報発信に役立っていない理由

Q3

J-STAGEが貴誌の情報発信に役立っていない理由を選んでください。
【必須】 【複数選択可】

- J-STAGEが役に立っていない理由としては、「発行機関内でJ-STAGE公開を運用する体制が確立していない」が60.0%と最も高い。

※回答者 n=10

● 全体



※全体のスコアで降順にソート

■ 国際的な情報発信力強化への役立ち度

Q4

J-STAGEは貴誌の国際的な情報発信力の強化に役立っていますか。【必須】 【1つ選択】

- J-STAGEが国際的な情報発信力の強化に役立っているかについては、「役に立っている」が最も多く30.3%。「まあまあ役に立っている」と合わせて半数が「役に立っている」と回答。
- 「国際発信力強化は重要と考えているが、役に立っているかどうかわからない」は27.1%。

※全体 n=413



■ 国際的な情報発信力強化に役立っている理由

Q5

J-STAGEが貴誌の国際的な情報発信力の強化に役立っている理由を選んでください。
【必須】 【複数選択可】

- J-STAGEが国際的な情報発信力の強化に役立っている理由としては、「海外からの閲覧数が順調に推移している」が56.4%と最も高い。

※回答者 n=195

● 全体



※全体のスコアで降順にソート

■ 国際的な情報発信力強化に役立っていない理由

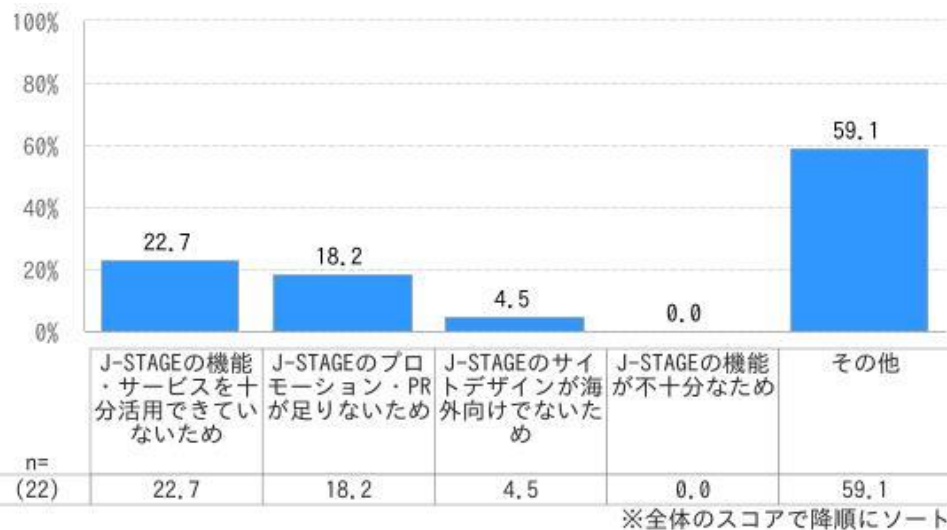
Q6

J-STAGEが貴誌の国際的な情報発信力の強化に役立っていない理由を選んでください。
【必須】 【複数選択可】

- J-STAGEが国際的な情報発信力の強化に役立っていない理由としては、「その他」が59.1%で最も高い。次に「J-STAGEの機能・サービスを十分活用できていないため」が22.7%となっている。

※回答者 n=22

● 全体



全体	n=	22.7	18.2	4.5	0.0	59.1
全体	(22)	22.7	18.2	4.5	0.0	59.1

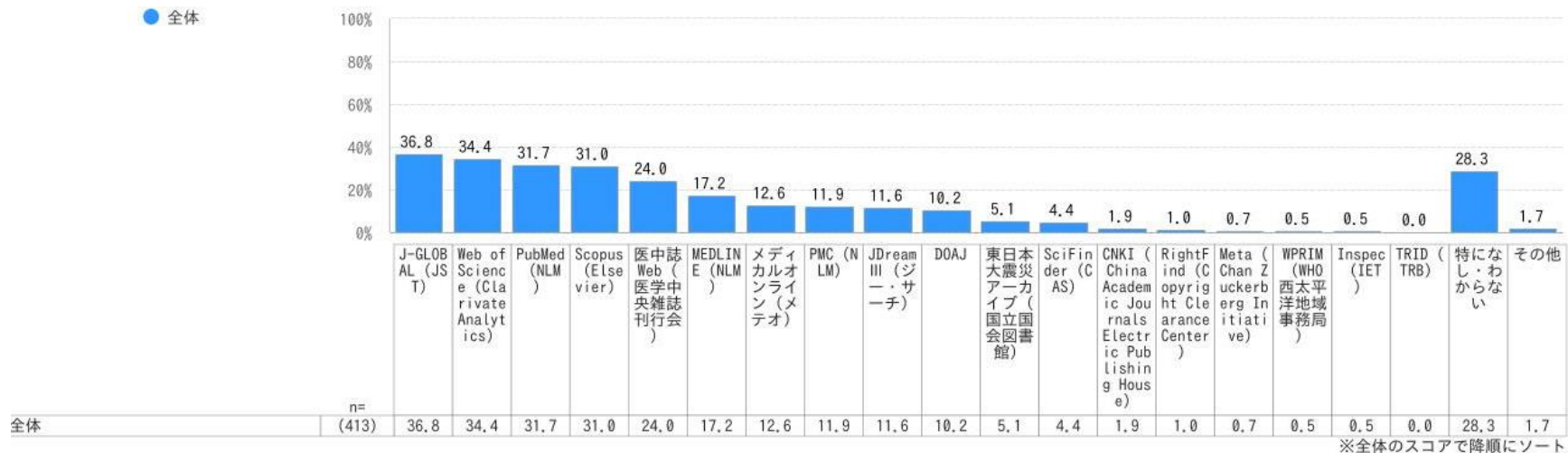
■ 情報発信に特に役立っている機能

Q7

以下の外部サービスの中で、インデックスされること（データベースに収録され、検索が可能になること）で貴誌の発信力の強化につながるものを選んでください。選択肢にない場合は、「20. その他」を選択し自由入力欄に書いてください。【必須】 【複数選択可】
 ※J-STAGE上のすべての資料および記事の検索がすでに可能な外部サービス（CiNii、Google等）は選択肢から除いています。

- インデックスされると発信力強化になると回答があった外部サービスとしては、「J-GLOBAL (JST)」が36.8%で最も高い。これに「Web of Science (Clarivate Analytics)」が34.4%、「PubMed (NLM)」が31.7%、「Scopus (Elsevier)」が31.0%と続く。

※全体 n=413



■ 出版業務フローに役立っているもの

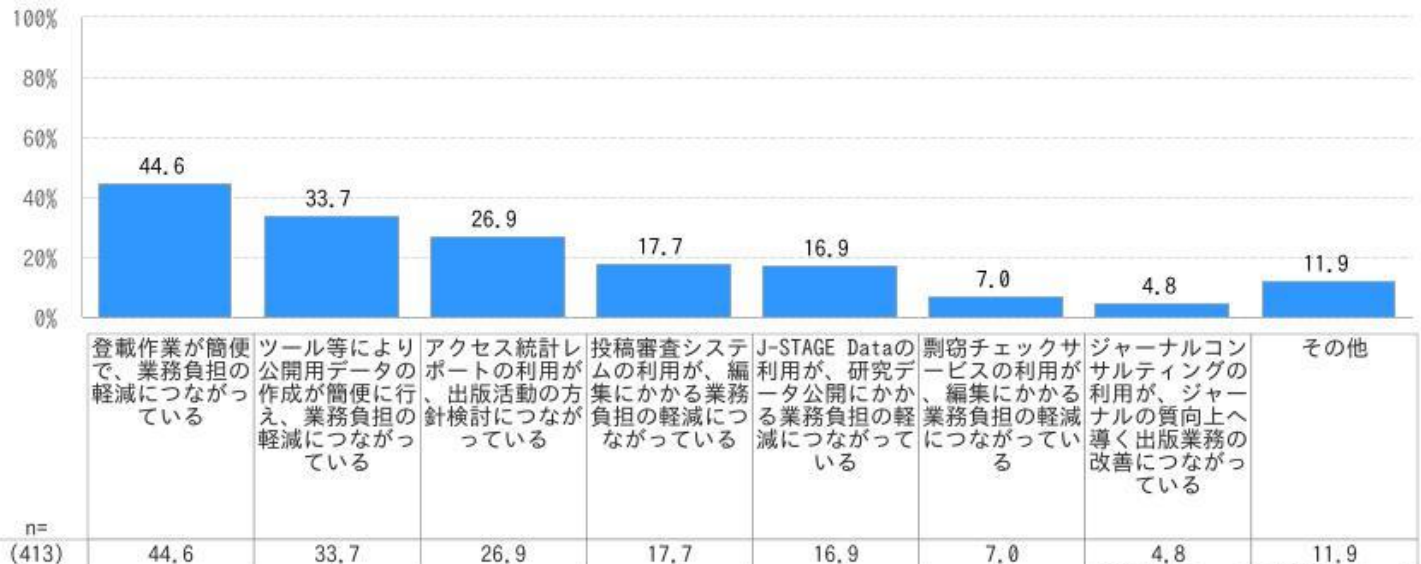
Q8

貴誌の出版業務フローにおいて、J-STAGEが貢献しているものを選んでください。
【必須】 【複数選択可】

- 出版業務フローに対するJ-STAGEの貢献については、「登載作業が簡便で、業務負担の軽減につながっている」が44.6%と最も高い。

※全体 n=413

● 全体



全体	n=(413)
----	---------

※全体のスコアで降順にソート

■ 登載作業者

Q9

貴誌においてJ-STAGEへの登載作業を実施する作業担当者を選んでください。
【必須】 【1つ選択】

- J-STAGEへの登載作業を実施する担当者は、「登載業務委託先（印刷会社）」が56.2%と最も多い。次いで「学協会事務局」が20.8%となっている。

※全体 n=413



■組版作業者

Q10

貴誌で「組版*」の作業を実施している場合、作業担当者を選んでください。

【必須】 【1つ選択】

* 出版工程のひとつ。論文記事における文字や図等を専用のソフトウェア等を用いて配置し、紙面を構成する作業。

- 組版の作業担当者については、「印刷会社など外部業者」が74.3%と最も多い。
- 「組版を実施していない」は14.5%。

※全体 n=413



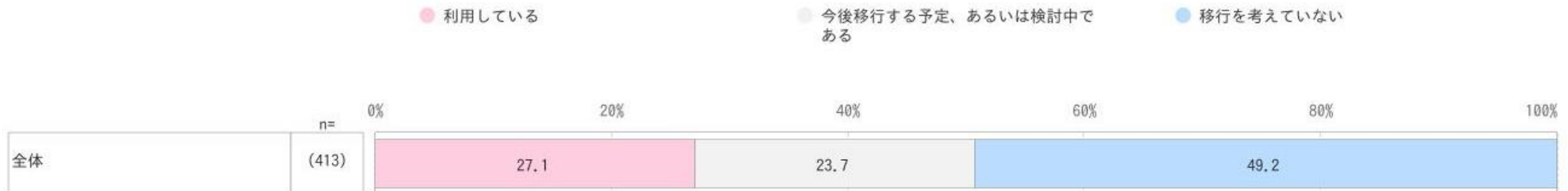
■ 全文XML 利用状況・移行予定

Q11

貴誌の全文XMLの利用状況および移行予定を選んでください。【必須】 【1つ選択】
※J-STAGEでは登載誌の発信力を強化するため全文XML化を推進しています。

- 全文XMLの利用状況および移行予定については、「移行を考えていない」が49.2%と半数を占める。
- 「今後以降する予定、あるいは検討中である」は23.7%となっている。

※全体 n=413



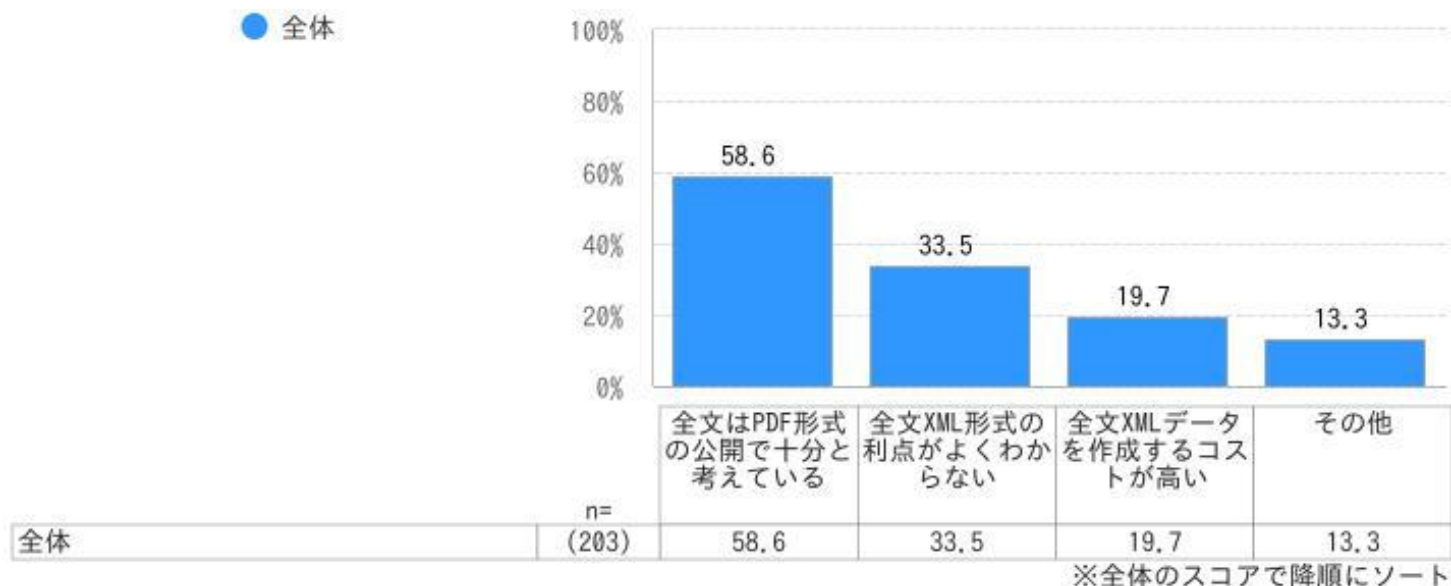
■ 全文XML形式への移行を考えていない理由

Q12

全文XML形式への移行を考えていない理由を選んでください。【必須】 【複数選択可】

- 全文XML形式への移行を考えていない理由としては、「全文はPDF形式の公開で十分と考えている」が58.6%と最も高い。これに「全文XML形式の利点がよくわからない」が33.5%で続く。

※回答者 n=203



■ 全文XML作成ツール 利用意向

Q13

J-STAGEが提供している「全文XML作成ツール」*を利用していますか。利用していない場合どのようなツールであれば使いたいかを選び、具体的な希望を書いてください。登載作業者の意見を聞いておこたえください。【必須】 【複数選択可】

* WordやLaTeX形式の文書ファイルから全文XMLデータを作成するツール。

- 「全文XML作成ツール」の利用状況について、「全文XML化していないため使用していない」が57.6%で最も高い。
- 「利用している」は12.1%。

※全体 n=413

● 全体



※全体のスコアで降順にソート

■エンバーゴ・認証設定有無

Q14

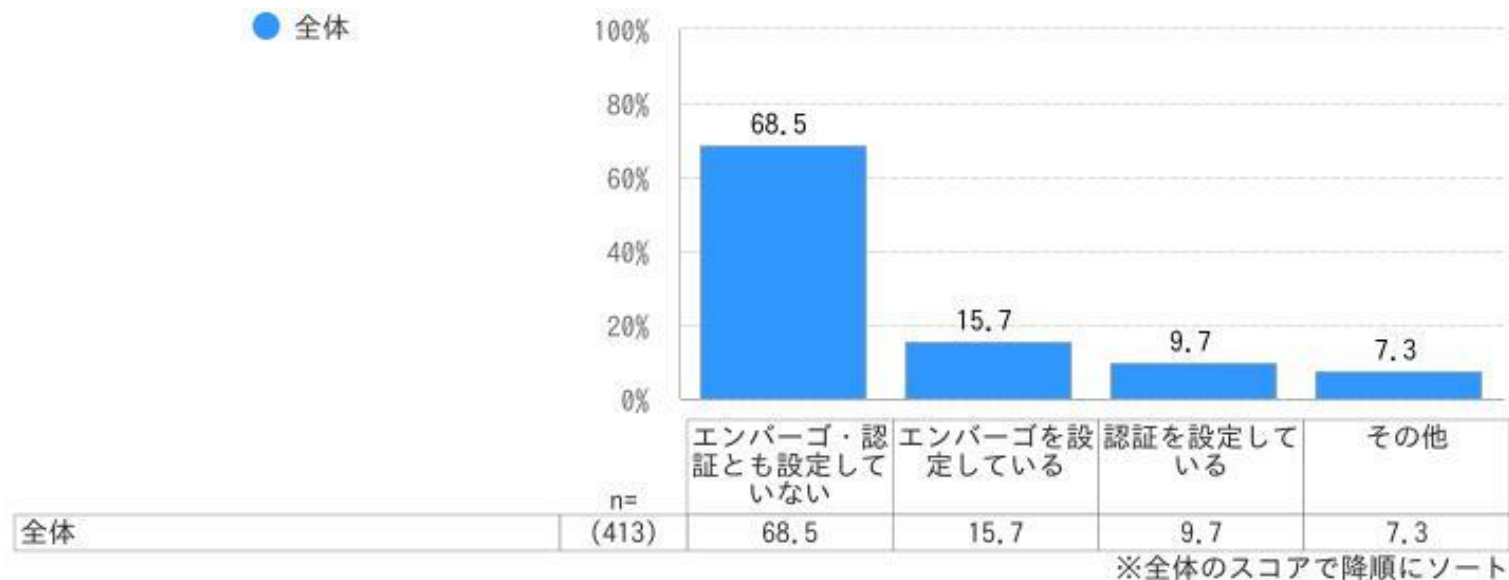
貴誌の、エンバーゴ*1あるいは認証*2について、設定状況を選び、期間を半角数字で入力してください。認証を解除しない場合は99ヶ月と入力してください。

【必須】 【複数選択可】

*1 冊子発行からJ-STAGE公開までの期間。 *2 J-STAGE登載から認証解除までの期間。

- エンバーゴや認証の設定状況について、「エンバーゴ・認証とも設定していない」が68.5%と最も高い。

※全体 n=413



■エンバーゴ・認証設定理由

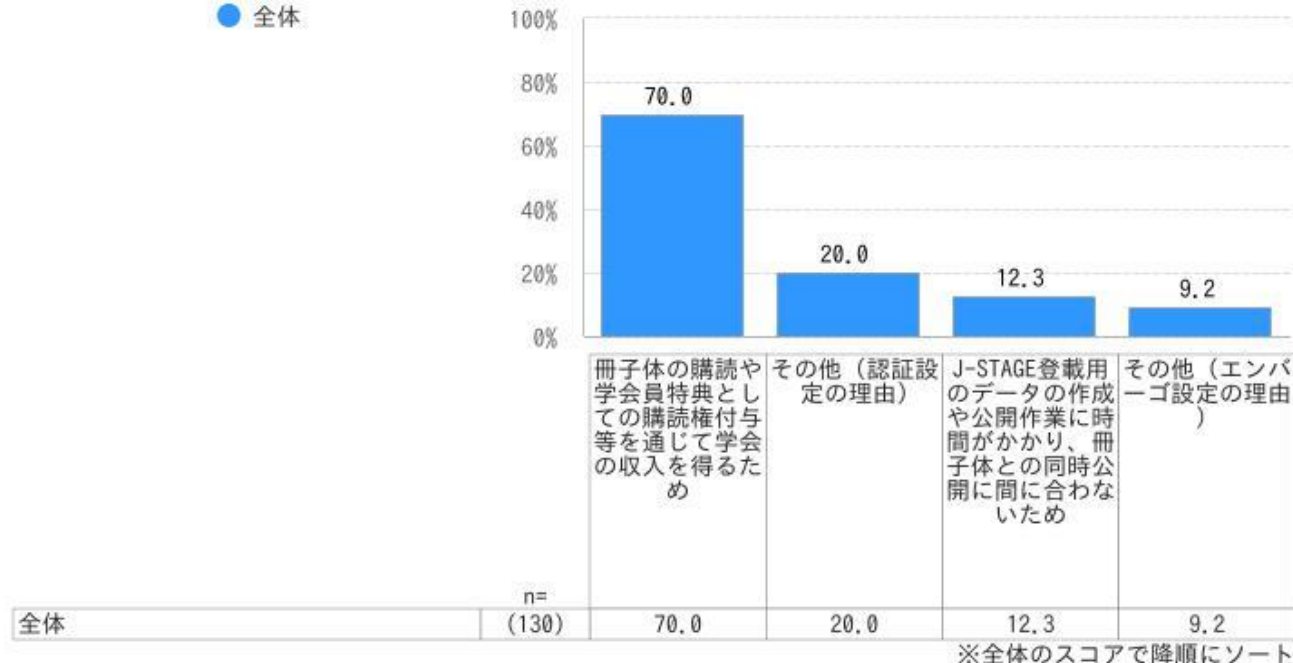
Q15

エンバーゴや認証を設定している理由を選んでください。【必須】 【複数選択可】

- エンバーゴや認証の設定理由としては、「冊子体の購読や学会員特典としての購読権付与等を通じて学会の収入を得るため」が70.0%で最も高い。

※回答者 n=130

● 全体



■エンバーゴ・認証設定 今後の方針

Q16

エンバーゴや認証に関する今後の方針を選んでください。【必須】 【複数選択可】

- エンバーゴや認証の今後の方針については、「エンバーゴ：引き続き設定する」が60.8%で最も高い。これに「認証：引き続き設定する」が39.2%で続く。継続意向有が廃止の意向有を上回る。

※回答者 n=130

● 全体



※全体のスコアで降順にソート

■ 二次利用取扱い方法の明記有無

Q17

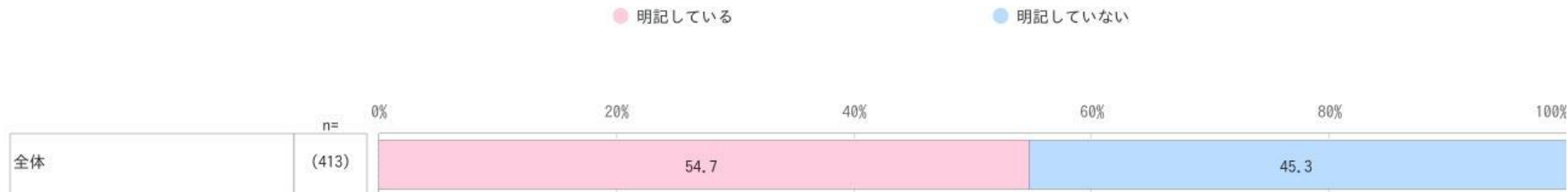
貴誌では、記事の二次利用を許可する範囲や条件を定め、投稿規程や論文等に明記していますか。【必須】 【1つ選択】

CCライセンスについては、以下のURLをご参照ください。

<https://creativecommons.jp/licenses/>

- 記事の二次利用について、「明記している」が54.7%、「明記していない」が45.3%であり「明記している」が若干上回る。

※全体 n=413



■ 二次利用の許可範囲や条件

Q18

記事の二次利用の許可範囲や条件について、投稿規定や論文等への明記状況を選んでください。【必須】 【1つ選択】

- 記事の二次利用の許可範囲や条件の明記状況については、「独自の規定を設けている」が44.2%で最も多い。

※回答者 n=226



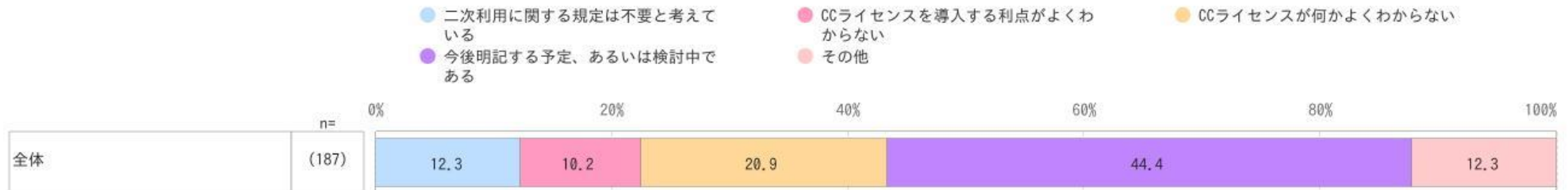
■ 二次利用を明記しない理由

Q19

明記していない理由を選んでください。【必須】 【1つ選択】

- 明記していない理由としては、「今後明記する予定、あるいは検討中」が44.4%で最も多い。

※回答者n=187



■ プレプリントサーバで公開された原稿の自誌への投稿承認状況

Q20

プレプリントサーバ*で公開された原稿について、その投稿の認否を選んでください。

【必須】 【1つ選択】

* 学術雑誌に投稿前あるいは査読前の論文原稿（プレプリント）をアップロード・公開するインターネット上のサーバ。

- プレプリントサーバで公開された原稿の投稿の認否について、「未検討」が42.1%で最も多い。「認めていない」が24.5%、「認めている」が13.6%と「認めていない」が上回る。

※全体 n=413



■プレプリント方針の明記予定

Q21

プレプリントに関する方針（認める、認めないに関わらず）の投稿規定への記載状況を選んでください。【必須】【1つ選択】

- 投稿規定への記載状況は、「明記する予定はない」が48.2%で最も多い。
- 「明記している」は9.8%、「今後明記する予定である」は4.8%。

※回答者 n=396



■ 投稿受付時のプレプリントチェック状況

Q22

投稿受付時、原稿がプレプリントサーバにて公開済みか否かのチェックについて選んでください。【必須】 【1つ選択】

- 「著者に申告させていないし、チェックもしていない」が75.5%で最も多い。

※回答者 n=396



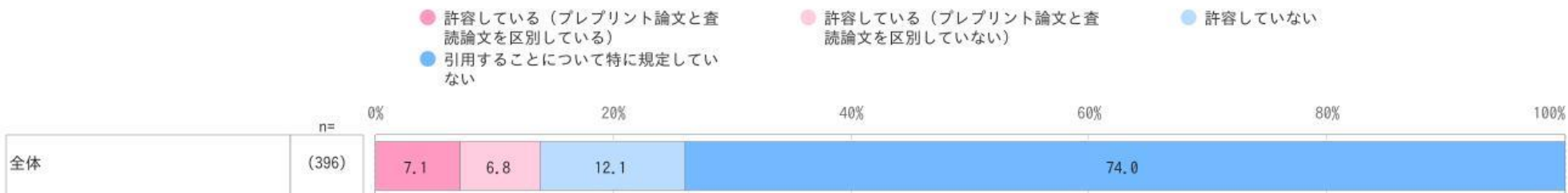
■プレプリント論文引用の許容状況

Q23

貴誌掲載の論文における、プレプリント論文の引用の許容について選んでください。
【必須】 【1つ選択】

- プレプリント論文の引用の許容については、「引用することについて特に規定していない」が74.0%で最も多い。

※回答者 n=396



■プレプリントサーバ連動サービスへの期待

Q24

JSTがプレプリントサーバを立ち上げた場合、J-STAGEとの連動サービス*を期待しますか。【必須】【1つ選択】

*例えば、プレプリントサーバ上のプレプリントをJ-STAGE掲載誌にボタン1つで投稿できるような機能など。

- JSTがプレプリントサーバを立ち上げた場合のJ-STAGEとの連動サービスについて、「期待する」が35.4%、「期待しない」は64.6%であり、「期待しない」の回答が「期待する」を上回る。

※全体 n=413



■よく利用しているプレプリントサーバ

Q25

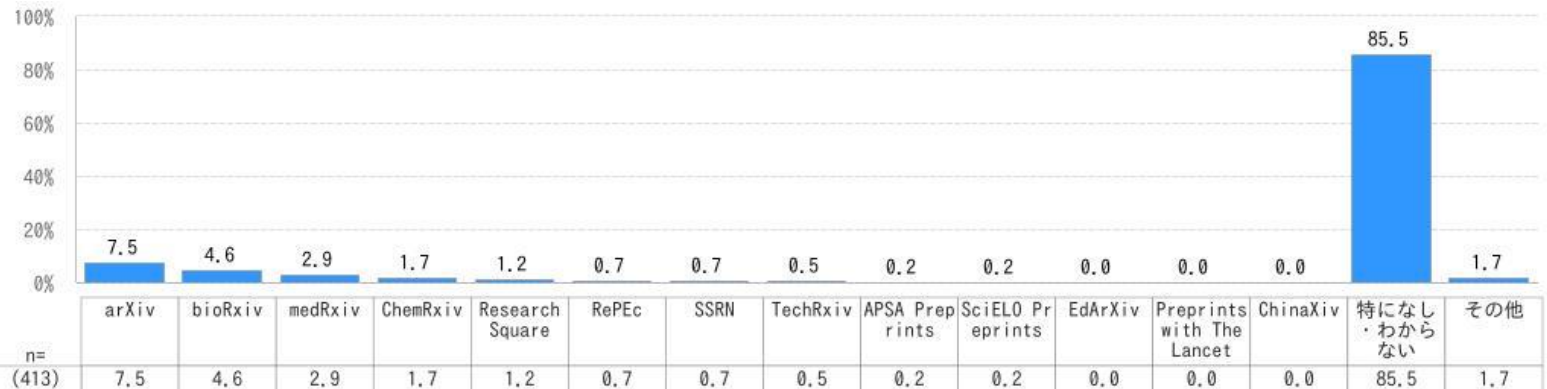
貴誌の分野で利用されているプレプリントサーバを選んでください。

【必須】 【複数選択可】

- 利用されているプレプリントサーバーとして、最も多くあがったのは「arXiv」で7.5%。
- 「特になし・分からない」が85.5%と多数を占める。

※全体 n=413

●全体



※全体のスコアで降順にソート

■ 研究データの取扱い規程有無

Q26

論文に関連する研究データの保存・公開等について投稿規程等で定めていますか。

【必須】 【1つ選択】

- 投稿規定における、論文に関する研究データの保存・公開等については、「定めておらず、今後もその予定はない」が51.8%と最も高い。
- 「定めている」は11.9%、「今後定める予定」は3.6%。

※全体 n=413



■ J-STAGE Data 利用意向

Q27

J-STAGE Dataを利用していますか。【必須】 【1つ選択】

※J-STAGEでは、論文記事とその根拠となる研究データをリンクさせて公開するデータリポジトリ「J-STAGE Data」を2020年3月に開設しました。

J-STAGE Data (<https://jstagedata.jst.go.jp/>)

- J-STAGE Dataの利用状況について、「利用している」は4.6%にとどまる。
- 「どちらとも言えない・わからない」が72.9%と最も多い。

※全体 n=413



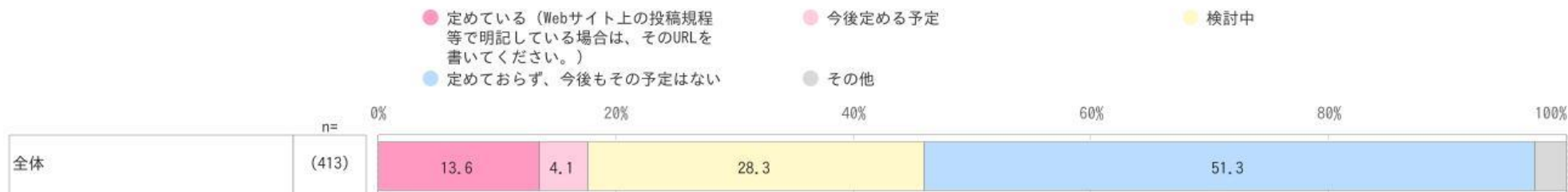
■ 研究データの引用、再利用等の取り扱い明記状況

Q28

公開されている研究データの引用あるいは再利用等について投稿規程等で定めていますか。【必須】 【1つ選択】

- 公開されている研究データの引用や再利用等の規定について、「定めておらず、今後もその予定はない」が51.3%と最も多い。
- 「定めている」は13.6%で、「今後定める予定」も4.1%。

※全体 n=413



■ データ論文、類するものの論文カテゴリー設定状況

Q29

データ論文あるいはそれに類するものを、1つの論文カテゴリーとして設定していますか。

【必須】 【1つ選択】

※研究データの公開を主要な目的とするデータ論文あるいはそれに類するものを、新たな論文カテゴリーとして設定する例が増えています。

- 論文カテゴリーに、データ論文あるいはそれに類するものを設定するかについては、「検討しておらず、今後もその予定はない」が60.8%と最も多い。

※全体 n=413



■役に立ちそうなサービス

Q30

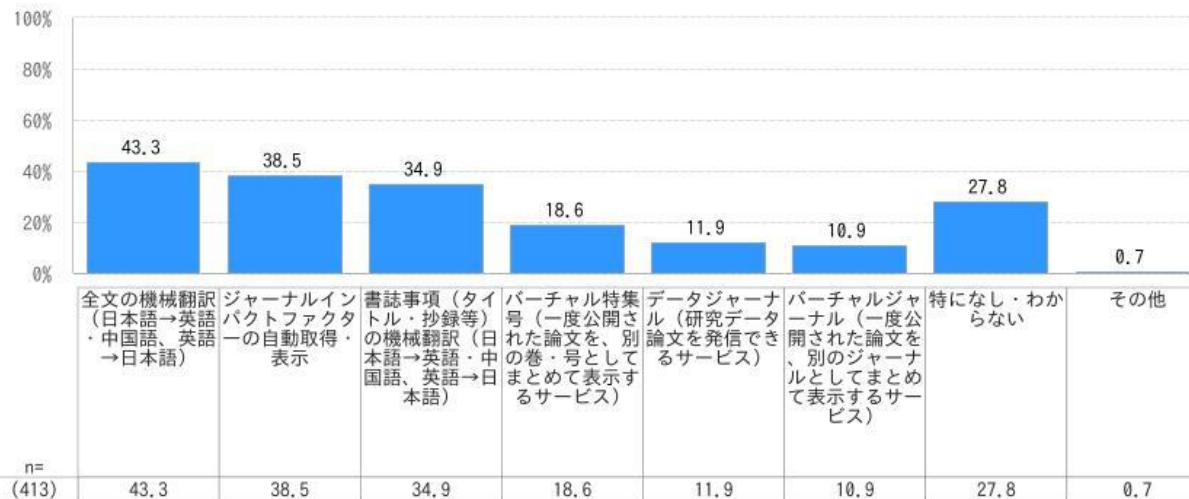
貴誌にとって役に立ちそうなJ-STAGEの新たなサービスを選んでください。

【必須】 【複数選択可】

- 役に立ちそうな新たなサービスとしては、「全文の機械翻訳（日本語→英語・中国語、英語→日本語）」が43.3%と最も多い。これに「ジャーナルインパクトファクターの自動取得・表示」の38.5%、「書誌事項(タイトル・抄録等)の機械翻訳（日本語→英語・中国語、英語→日本語）」が34.9%で続く。

※全体 n=413

● 全体



※全体のスコアで降順にソート

■ 広報媒体・イベントでよく閲覧するもの

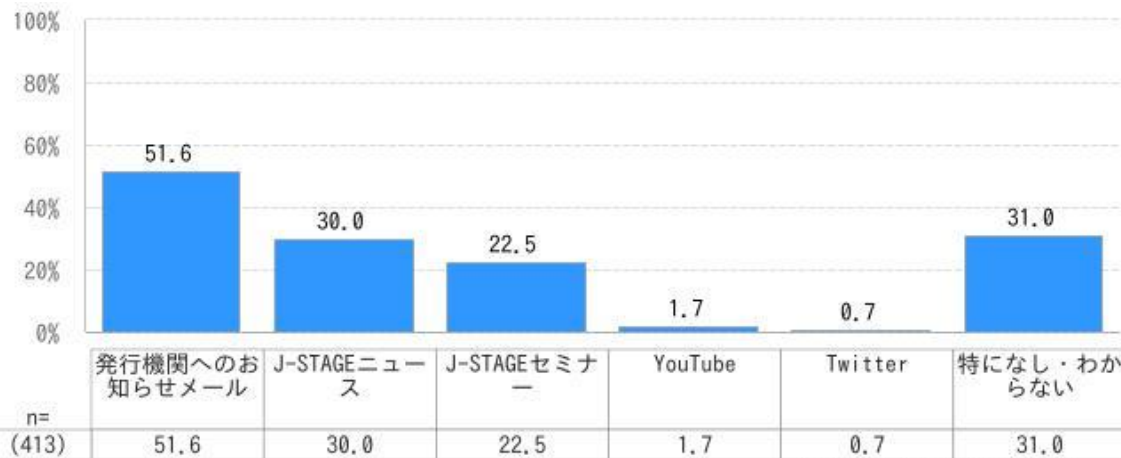
Q31

J-STAGEが運営する広報媒体・イベントのうち、よく見る（参加する）ものを選んでください。【必須】 【複数選択可】

- J-STAGEが運営する広報媒体・イベントでよく見る（参加する）ものとしては、「発行機関へのお知らせメール」が51.6%で最も高い。
- YouTubeやTwitterといったSNSは低い。

※全体 n=413

● 全体



全体

n= (413)

51.6

30.0

22.5

1.7

0.7

31.0

※全体のスコアで降順にソート